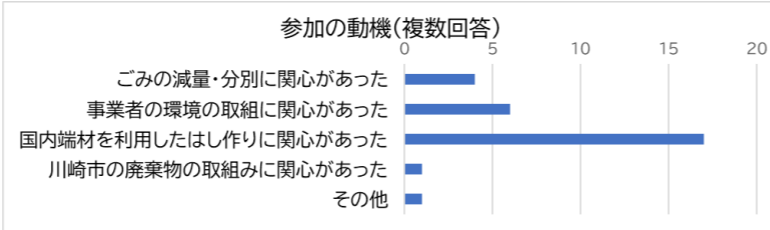
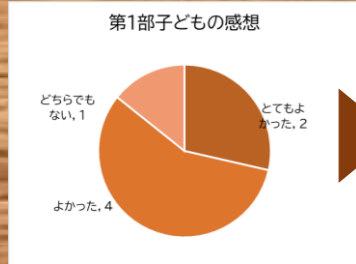


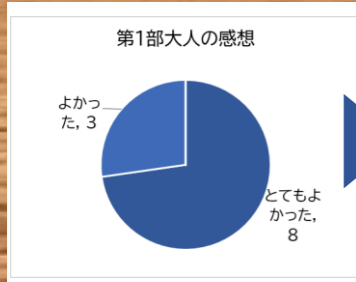
第1回ごみゼロカフェ 参加者の感想



第1部(講義)について

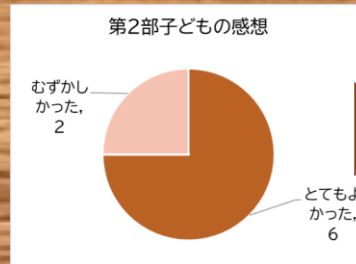


- ・難しいところも良かったところもある
- ・少し難しかったけれど、市民館の床がプラスチックだと知ってびっくりした
- ・木材について詳しくなれた
- ・分かり易かった
- ・いろいろなごみのことを知ることができた

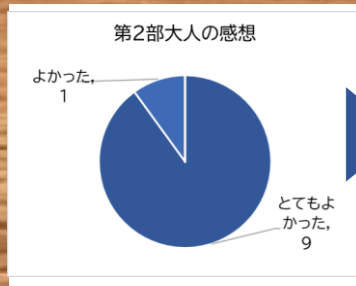


- ・多種多様なごみを分別してリサイクルを進めていることが分かり良かった
- ・建築で出たごみの分別が多いことに驚きがあった
- ・廃材のリサイクルが進んでいることを知ることができた
- ・建築のごみのリサイクルについて知ることができて勉強になった
- ・知らないことばかりで勉強になった、意外とリサイクル率が高かった!
- ・具体的なリサイクルの話が聴けて参考になった
- ・リサイクルに力を入れているのが素晴らしい
- ・リサイクル、ごみについて良く分かった
- ・CO₂削減とリサイクルをつなげた話しが良かった

第2部(工作)について



- ・きれいに作れた
- ・教えてもらえて上手く作れた
- ・思ったよりやりやすかったし、入浴剤にもできて良かった
- ・お箸を持って帰れるのが良かった
- ・新鮮だった
- ・カンナで削るのは難しかった



- ・楽しかった。カンナを使ったのは子どものころ以来かもしれない
- ・ヒノキの香りが良かった。カンナかけ、力の入れ方で削りが変わり楽しかった
- ・細くなってしまうけど香りもよくて楽しかった
- ・日常で使うものを作るのが楽しかった
- ・自分だけのお箸ができてうれしかった、大切に使う
- ・自分のハシを自分で作ることができ楽しかった
- ・子どもでも危なくなく作れた、ありがとうございました
- ・木に触れ、いい香りがして楽しい体験になった
- ・いい経験ができた
- ・ふだん使わない道具を使って、貴重な体験ができた

その他意見・要望等

- <子ども>
- ・お箸が作れて満足した
- <大人>
- ・久しぶりに夢中になりとてもいい時間を過ごせた
 - ・お正月の菜箸になる、ありがとうございました
 - ・子どもも楽しくできて良かった
 - ・カンナも楽しかった
 - ・また参加したい、ありがとうございました
 - ・もっと子どもたちに参加して欲しい



今後希望する講座等

- <子ども>
- ・椅子作り
 - ・モノを作りたい
 - ・工作
- <大人>
- ・食べ物への工夫に関すること
 - ・木を伐採してから木材になるまでの過程。端材を使った工作
 - ・ごみ処理場へ行ってみたい、スケルトンのごみ収集車を見てみたい
 - ・家庭でできるリサイクルについて知りたい
 - ・今回のような地域企業の取組

～ごみゼロカフェサポーターになりませんか?～

▼サポーターの詳細はこちら▼

川崎市ごみゼロカフェ



お問合せ先

川崎市環境局生活環境部減量推進課
TEL:044-200-2580 FAX:044-200-3923 E-Mail:30genryo@city.kawasaki.jp

第1回ごみゼロカフェ 開催報告

ごみゼロカフェ NEWS

建築現場の“ごみ”の現状

第1回では、川崎市内で100年の歴史をもつジェクト株式会社の小水内氏を講師に招き“住宅建築のごみ”の現状とリサイクルにフォーカスをあてた講義と、端材を利用した工作の2部構成で開催しました。住宅建築という分野でのごみの話とオリジナルのはし作りは、参加者にとっても大変新鮮な体験となりました。

講師 ジェクト株式会社 中原工房 工房長 小水内 公彦 氏

第1部(講義)

住宅建築のごみとリサイクルのおはなし

住宅建築の現場から発生する“ごみ”の処理について、ジェクト株式会社の取組やリサイクルについて講義いただきました。



第2部(工作)

国産端材で“はし”をつくろう

国産材の端材を利用したオリジナルの“はし”作りは、カンナ初体験の参加者にとっては、とても新鮮な体験となりました。



第1回 ごみゼロカフェ 開催概要

- 《開催日時》 2023年12月2日(土)10:00～11:30
- 《開催場所》 中原市民館 実習室
- 《参加者》 19名(大人11名 子ども8名)
- 《内容》 “脱炭素”をキーワードに、住宅建築のごみとリサイクルについての講義と、国産端材を利用した“はし”作りの2部構成で実施した。



第1部(講義)

住宅建築のごみとリサイクルのおはなし



建築現場で出る様々なごみが、どのようにして廃棄され、また、リサイクルされているのかをジェクト株式会社の環境への取組みも含め講義をしていただきました。
木材の話として、森林が持つ様々な機能や木材の使用による地球温暖化防止の取組などのお話からはじまり、廃棄物の処理や具体的なリサイクル方法の興味深いお話があり、子どもから大人まで、本講座を通して学習することができました。

主な講義内容としては・・・

- ・川崎市の国産木材利用の取組
- ・森林の機能、資源循環社会について
- ・住宅建築現場から出るごみの種類やリサイクル(中間処理施設の紹介等)について



JECTO株式会社 小水内 公彦 氏による講義



講義中の参加者の様子
クイズも交え、子ども達も楽しく熱心に参加していました

第2部(工作)

国産端材で“はし”を作ろう！

ジェクト株式会社では、国産檜(ひのき)を用いて家具を製作しており、その端材を材料として有効活用し、自分だけのオリジナルはしを作りました。
カンナを扱うのが初めての子どもや、長い間使っていなかった大人も、戸惑いながらの作業でしたが、完成した時は、達成感にみな笑顔になりました。
また、カンナ屑も捨てずに、入浴剤替わりに再利用するために各自が家に持ち帰ったため、ごみ削減にもつながりました。



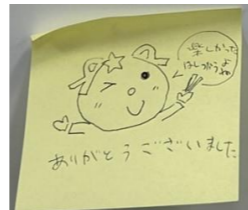
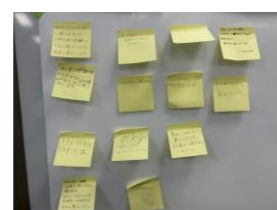
講師によるカンナの扱い方等の注意点の説明



子ども達には、講師より扱い易さを考慮して、少し小さめのカンナをご用意いただきました

～参加者には講座中に思ったことや感想を付箋に書いていただき参加者間で情報共有しました～

- ・近所にある光州産業がリサイクルに秀でているようで見直した。箸作りも楽しかった
- ・夢中になれて楽しかった、木の香りに癒された
- ・日本の家は25年で終わりになると聞き、せめて人間の寿命90～100年間は住める家になりたいと思った
- ・カンナは60年振りに使ってみたが、子どもの頃の経験は手元に残っていて感覚を覚えている
- ・カンナがけで左右の力加減が難しかった
- ・箸をけずるのは楽しかったから、2024年も同じイベントをやって欲しい
- ・楽しかった！
- ・とにかく楽しかった
- ・お箸作り楽しかった
- ・削るのが楽しかった
- ・楽しかった、上手にできた
- ・箸作り楽しかった、ありがとうございました



カンナ使いに親子で夢中になりました



カンナ屑も捨てずに、入浴剤として活用します